

公開・非公開の別

■公開 □部分公開

□非公開

令和3年度 第1回浜松市医療的ケア児等支援協議会

会 議 録

1 開催日時 令和3年7月16日(金) 午後2時から午後3時10分

2 開催場所 浜松市役所 32会議室

3 出席状況

委員氏名	所属	備考
福田 冬季子	浜松医科大学	Zoom参加
遠藤 雄策 (会長)	浜松市発達医療総合福祉センター はままつ友愛のさと	
大木 茂	総合病院 聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター新生児科	Zoom参加
尾田 優美子	浜松市訪問看護ステーション連絡協議会	Zoom参加
岡崎 貴宏	岡崎内科医院	Zoom参加
八幡 正信	県立西部特別支援学校	
沖村 宏美	聖隷おおぞら療育センター	
里 あゆ子	浜松地区肢体不自由児親の会	
清水 恵美	在宅医療ケアのある子を持つ親の会	
梶村 美由紀	浜松市中障がい者相談支援センター	
鈴木 崇之	相談支援事業所アグネス	
雨宮 寛 (副会長)	浜松市障がい者基幹相談支援センター	
石川 博則	学校教育部 指導課	
井川 宜彦	こども家庭部 幼児教育・保育課	
小山 東男	こども家庭部 子育て支援課	
島 和之	健康福祉部 健康医療課	
久保田 尚宏	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
仲井 俊二	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
柴田 多美子	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
山内 愛美	健康福祉部 障害保健福祉課 (事務局)	
阿部 祥美	浜松市社会福祉事業団 相談支援事業所シグナル(事務局)	

4 傍 聴 者 なし

5 議 事 内 容

- 1 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告
- 2 全数把握調査について
- 3 令和2年度実施医療的ケア児を持つ保護者のへの意見を伺う会報告
- 4 その他

6 会議録作成者 浜松市社会福祉事業団 相談支援事業所シグナル 阿部

7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

8 会 議 記 録

1 医療的ケア児等支援コーディネーター活動実績報告

資料に基づき事務局から説明

【委員からの意見】

(大木委員)

- ・安否確認システムの登録が少ない理由は。登録したくない理由はあるのか。
⇒ (事務局) 案内の発送は優先順位が高い方から順次行っており、発送が完了している数は少ない。登録拒否理由は確認できていないが、登録のメリットを伝えていく必要があると考えている。

(福田委員)

- ・医療的ケアの名簿登録者に安否確認システム登録案内を発送しているようだが、災害時に使用薬剤の登録も含めて安否確認システムの活用方法を考えていくことはできるか。
⇒ (事務局) 安否確認システムには名前と ID とアドレスのみの登録のため、今後どの程度情報拡張できるのか確認していきたい。

(遠藤委員)

- ・安否確認システムを日頃から利用できるよう、新型コロナウイルスワクチン接種の情報など情報発信できるとよいのではないか。普段使いができないものは緊急時に利用することは難しい。
⇒ (事務局) 今回、ワクチン接種について安否確認システムを利用して情報発信を行っている。安否確認システムの利用方法については検討を続けていきたい。

(清水委員)

- ・安否確認システム登録通知を受け取った方は不信に思い返信しない方もいた。医師や訪問看護から登録について一報あれば不安がなかったのでは。
⇒ (事務局) 対応について検討していく。

(大木委員)

- ・安否確認システムについてリーフレット等があれば医療機関で掲示可能。

(尾田委員)

- ・保育園での医療的ケア児支援は、どのような支援をしているのか。

⇒(事務局)保育園に訪問し、保育状況や看護師の業務状況、職場環境等の確認から始めている。園ではプール遊びが始まるにあたり、対応方法がわからないことも多かったため、児童発達支援センターひまわりの看護師等と同行訪問し OJT を実施。園支援に関しては、今後民間園で働いている看護師も含めた横のつながりが持てるような体制づくりが必要だと考えている。

(尾田委員)

- ・訪問看護としてできることがあれば協力していきたい。横のつながりは体制を整えてもらえると良い。

(雨宮委員)

- ・災害時個別支援計画と安否確認システムのつながりが持てるとより良いものになるのではないかな。

⇒(事務局)今後検討していく。

(里委員)

- ・医療ケアがなくても体温管理が必要になる方も安否確認システムへの登録が必要ではないかな。

⇒(事務局)今後対象として検討していく。

(遠藤委員)

- ・本協議会に参加している委員も安否確認システムを使用して情報発信することは可能かな。検討をお願いしたい。

⇒(事務局)今後検討していく。

(清水委員)

- ・天竜区の方が先日の豪雨の際に中部電力から電話が入った方がいたようだ。安否確認システムとは連携されているのかな。

⇒(事務局)現在連携はしていない。

2 医療的ケア児等全数把握調査について

資料に基づき事務局から説明

【委員からの意見】

(遠藤委員)

- ・情報更新に関しては今後メールでの案内に切り替えていくことは可能かな。

⇒(事務局)安否確認システムを活用し、年に1回程度の情報更新ができるようにしていきたいと考えている。

(石川委員)

- ・医療的ケア児者の実人数はわかっているのかな。

⇒(事務局)医療的ケアが必要な方については行政として把握する術がなく、実

人数は把握できていない。

(遠藤委員)

- ・情報提供書兼同意書の提供を断られたケースはどのくらいあるのか調べる必要があるのではないか。
- ⇒(事務局) 今後検討していく。

3 医療的ケア児等を持つ保護者への意見を伺う会報告

資料に基づき事務局より説明

【委員からの意見】

(雨宮委員)

- ・サービスの利用を断られるのは具体的にどのようなサービスか。
- ⇒(事務局)生活介護や短期入所が多い。医療ケア児の受け入れ可能な施設に地域の偏りはあると確認しており、市で開催している支援者養成研修等の受講を勧め、対応できる事業所を増やしていきたい。

4 その他

○令和3年度医療的ケア児等支援者養成研修について事務局より説明

- ・10月、11月にオンラインにて開催。基礎編、発展編、看護編の3つの研修を行い、歯科医師の協力も得ながら内容を検討していく予定。

【委員からの意見】

(雨宮委員)

- ・浜松市障がい者緊急時対応事業において医ケア児者の対応希望が出てきている。おぞら療育センター、天竜病院ともに夜間、休日の対応が難しいと言われている。何か手立てはあるか。
- ⇒(大木委員) 聖隷浜松病院としてはレスパイト入院の受け入れの実施はベッドが空いていれば可能であるが、病棟としては受け入れが厳しい状況。
- ⇒(福田委員) 浜松医大医学部附属病院はレスパイト入院を行っていない。レスパイトの制度をもつ病院を行政で作ってもらえると良いのではないかと。
- ⇒(遠藤委員) 契約していれば児童相談所の一時保護としての対応も可能では。
- ⇒(雨宮委員) 児童は可能だが、成人の対応が難しい状況。
- ⇒(遠藤委員) カナダでは行政が費用を負担し1床確保しておくシステムがある。
- ⇒(大木委員) 10年ほど前に医院長会議でも話題になったことがある。病院としての協力体制を考えていけたらよいのではと思っている。
- ⇒(事務局) 県としても定められているものがないか確認していきたい。

(大木委員)

- ・福祉避難所の高齢者マニュアルの作成は進んでいるが、医ケア児や強度行動障害のマニュアル作成も必要であると感じている。
- ⇒(事務局) 今後検討していく。

○新型コロナウイルスワクチン接種について

(清水委員)

- ・ワクチン接種券の発送が進んでいるが、ワクチンの供給が足りず集団接種会場の予約しかとれなかった方がいる。医療的ケアを必要とする方が集団接種会場で本当に接種できるのか心配の声もある。

(里委員)

- ・コロナワクチン接種時に座薬もほしい。市販薬は使用したことがないのでいつも使っている解熱鎮痛剤がもらえると安心。

⇒ (遠藤委員) 新型コロナウイルスワクチン接種も含めて安否確認システム利用して情報発信ができる仕組みづくりの必要性が高いと感じる。